

茶壺考

四



筆勢武者硯卷之四

一 樊噲門破

一 黄石公張良

一 眉間尺

一 白樂天詩哥

一 荊軻秦舞陽

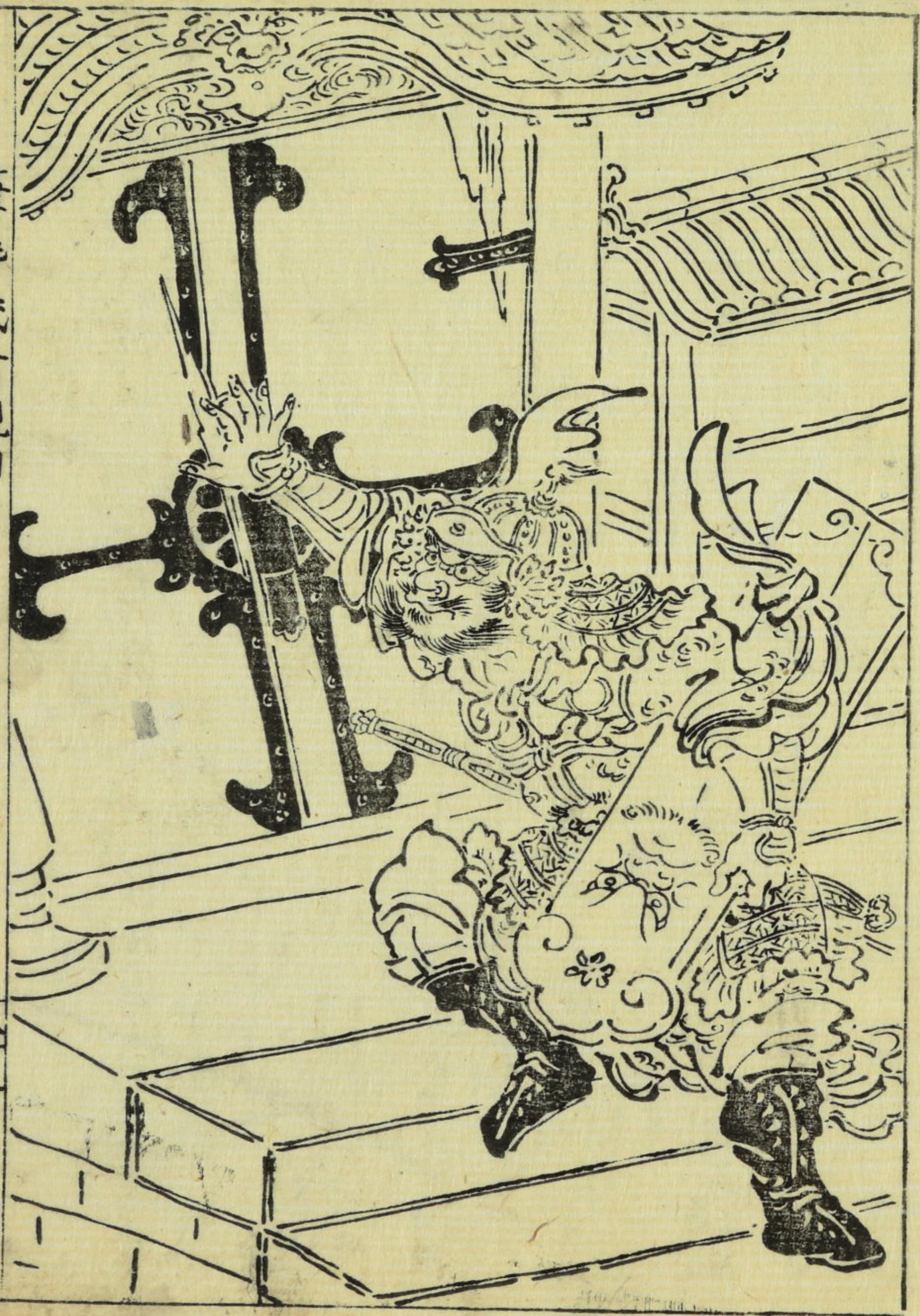
一 樊噲戮灌嬰

一 楊貴妃

一 天鼓

樊噲門破

項羽乃長下范增がもろふふりて沛を楚門の舎ふよせ殺さんと
 傳ふ沛公小沛沛一ハ張良一人なり酒宴酣ふ乃ひ項莊ハ刃を
 舞を催し刃をさすとい沛公を討んとする項伯ハ舞れおとす刃を
 をおひいてうさせざるなり張良門外小出て樊噲小沛沛を告ぐ用
 小入まとも樊噲を門乃四へ入り沛をゆるさばんとい漢の楯と膝扶
 刃を帯し沛門は大者わけ今日鴻門の會小おとすひ子都り身と
 介ふあきとも一滴の酒をも喝らば自ら魯ふ沛へて酒を飲んとも
 々れも能ゆるさばバカをわして門乃閉られればみらん小倒さすけ
 て番れ士卒の殺さばりぬ中軍小立入項羽ハ沛公の殺しぬ眼
 日月のごとく髪さすごらけり項羽をういて問はるくの事を漢使して
 沛公ハ罪をうしてけ罵るく如く沛公を殺すり





秦舞陽 荆軻



秦王正衣冠



黃石公

卷四



黃石公

張良

卷四

三

灌嬰

樊噲



集勢法者見四

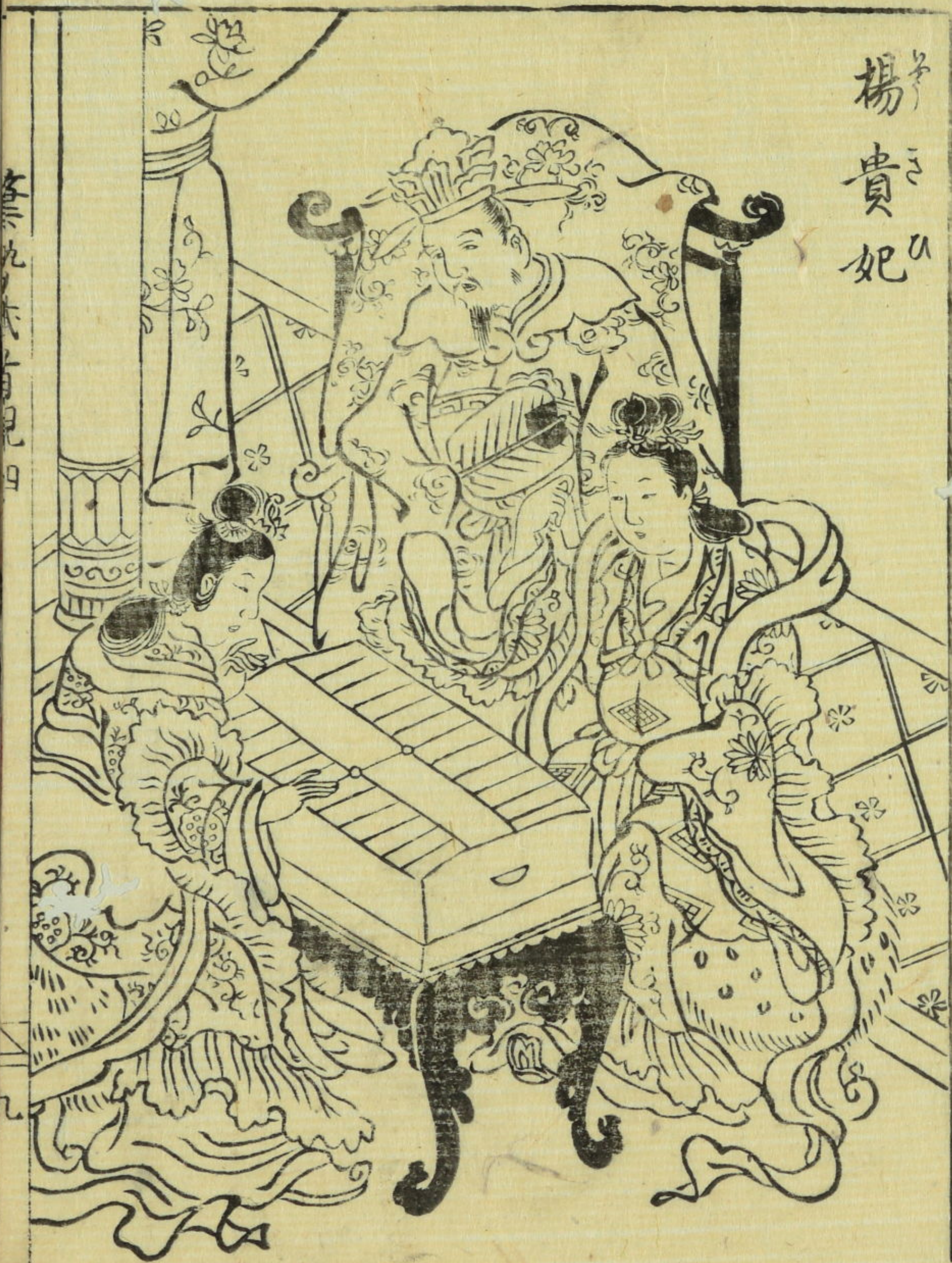


集勢法者見四

四



楊貴妃



卷九

筆架山



四

唐玄宗愛美女

唐の玄宗皇帝ハ專シ酒色小ナリ後ハ三人の美女を集メ酒宴
 持来夜れニシテ中カも楊玄瑛ガ女楊妃トシテ
 其美甚ク乃チ柳多クシテ人色クハ我ハ通衣
 妃も乃チ内トシテ女ナリ帝ハ寵愛シテ今ハ
 一也小丁月小ナリ一内也妃ハハ我ハハ
 勅ト云フイ朱四を告リ於收ハハ之ハ
 其名以下ナレ今ハ朱三朱四トシテ呼ビテ

白樂天詩飲問答

唐乃白乐天ハ詩文博識トモ英智ハ
 の知恵をシテ小ハハ海トシテ
 是ハハ日ナリトシテ酒答テ
 唐乃白乐天ハ詩文博識トモ英智ハ
 青苔負衣掛農肩
 白雪似帶巡山腰

若ももきりいふをさすとてさぬく
 此ハハ日ナリトシテ酒答テ
 唐乃白乐天ハ詩文博識トモ英智ハ

白樂天



筆勢正若破口



天鼓



天鼓惜鼓記

中善後海乃世ふ王位王母しり老ありま婦ひつゆかりりるぐ
 天より鼓方りるるるとんく妻女をいひいとつ子出生せしをてんこ
 とありくはゆりぎふえよりけむをほりけはく乃喜妙らる
 事と希きうりやと内裏へゆりあぐだりとの詔ありしを
 こと詔ふとむと鼓をともらふようく所な人りゆをてりり
 出しえこそるものりるはよちらり鼓を内裏へゆりあけ
 られり喜後此はく乃喜あり事なりやぐてえおが親王
 位をりしをられせらるる喜者神妙なりと
 あこれよねはしりゆりゆりといのはよ事なりと云鼓
 があしを祈んがらよゆとありひありりありありゆ
 ありとれ事あり

項生小端

依と不そと物

飛書

佐々木慶助

蔵書

